

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社あかつき本社 上場取引所 東
コード番号 8737 URL https://www.akatsuki-fg.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島根 秀明
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 宮田 康博 TEL 03-6821-0606
配当支払開始予定日予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	12,979	6.2	4,799	△11.4	914	8.3	839	15.6	475	△5.3
2025年3月期第1四半期	12,225	—	5,417	—	843	—	726	△37.6	502	△34.4

(参考) 税金等調整前当期純利益 2026年3月期第1四半期 839百万円 (15.6%) 2025年3月期第1四半期 725百万円 (△36.7%)
(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 483百万円 (△4.4%) 2025年3月期第1四半期 505百万円 (△34.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	15.71	—
2025年3月期第1四半期	16.46	—

(注) 2025年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	106,235	18,791	16.7	587.85
2025年3月期	92,035	18,853	19.4	590.21

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 17,792百万円 2025年3月期 17,864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	11.00	—	17.00	28.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2026年3月期の中間及び期末配当予想は、現時点で12.5円でございます。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日） (%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	11.5	4,900	31.5	4,400	13.1	2,700	2.6	90.17

※参考情報として「税金等調整前当期純利益連結業績予想」も開示します。
税金等調整前当期純利益：4,400百万円（対前期増減率：13.7%）
(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社しん証券さかもと、除外 1社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	34,029,544株	2025年3月期	34,029,544株
2026年3月期1Q	3,761,483株	2025年3月期	3,761,483株
2026年3月期1Q	30,268,061株	2025年3月期1Q	30,503,519株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、BBT信託口が所有しております当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手しております情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年6月30日まで）において、当社グループは以下のような取り組みを行ってまいりました。

① 証券関連事業

あかつき証券(株)では、金融商品仲介（IFA）ビジネスの拡大及び金融機関とのアライアンスの強化を戦略的に進めています。

IFAビジネスでは、契約仲介業者による顧客サポートの充実に貢献すべく、強みとする対面サポート体制の強化と、システム面での利便性向上や商品ラインナップの拡充などを進めております。対面サポート体制については、オペレーターによる米国株式の電話受注時間を20時まで延長し、米国株式取引の強化を進めました。システム面では、外国債券取引に関する必要書面交付の電子化を進め、外国債券取引の利便性向上を図りました。商品面では、新NISA制度の対象銘柄を中心に国内投資信託の取扱本数を731銘柄まで増加させ、併せて外国投資信託の取扱いを拡充し、多様化する商品ニーズに対応しました。また、外国債券について、最低券面未満取引の対象銘柄を拡充し、顧客の投資機会の拡大に努めました。

4月に、従来より国内株式の取次等を行う母店取引などで関係を深めていた(株)しん証券さかもと（本店所在地：石川県金沢市）の普通株式を追加取得し持分法適用会社（議決権所有割合33.7%）としました。また、同月に子会社のジャパンウェルスアドバイザーズ(株)（金融商品仲介業者）（以下「JWA」という。）において、同業者の(株)Innovation IFA Consultingの委任型IFA部門を吸収分割により取得しました。

上記の取組みにより2025年6月末の契約仲介業者外務員数は1,912名（2025年3月末比18名増）、子会社のJWAの提携金融機関における管理資産残高を含めた預り資産残高は6,789億円（同529億円増）、IFA部門の預り資産残高は4,241億円（同356億円増）と拡大しました。

業績面では、米国の関税政策の不確実性並びにウクライナ及び中東地域における地政学的な緊張等により、顧客が取引を手控えた結果、減収・減益となりました。

(証券関連事業の営業収益及びセグメント利益)

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期連結累計期間	2026年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
営業収益	4,213	3,138	△25.5%
セグメント利益	613	370	△39.6%

② 不動産関連事業

中古マンションの買取再販を行う(株)マイプレイスは、営業人員の拡大と仲介会社との連携強化を通じた、首都圏エリア（東京・神奈川・千葉・埼玉）及び、近畿圏エリア（大阪・兵庫・京都）における取引拡大に努めています。

当第1四半期連結累計期間においては、仕入戸数は230戸（前年同期は204戸）、販売戸数は202戸（同183戸）と前年同期を上回る水準での取引実績となりました。また、リノベーションの設計・施工を手掛ける(株)パウテックグループにおいては、完工数が252戸（前年同期は267戸）と安定して推移しました。

高齢者施設開発を手掛けるEWアセットマネジメント(株)においては、2024年9月に熊本県熊本市にオープンした「メディケア癒やしDX長嶺」が、順調に稼働率を高めています。また、4月に福岡県福岡市に「メディケア癒やし五番館長住」がオープンしました。これにより、6月末現在で稼働中の施設は4件となります。

業績面では、中古マンションの再販において販売戸数が増加したことで増収・増益となりました。

(不動産関連事業の営業収益及びセグメント利益)

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期連結累計期間	2026年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
営業収益	8,097	9,913	22.4%
セグメント利益	474	811	71.1%

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期連結累計期間	2026年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
営業収益	12,225	12,979	6.2%
営業利益	843	914	8.3%
経常利益	726	839	15.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	502	475	△5.3%

(補足情報)

I. あかつき証券(株)、ジャパンウェルスアドバイザーズ(株)

あかつき証券(株)は、リテール営業に加え、戦略的に金融商品仲介（IFA）ビジネスの強化、地域金融機関との提携、AI・フィンテックを活用したアドバイス力の強化を進めております。中でも2014年から本格参入しているIFAビジネスは拡大傾向にあります。なお、以下はあかつき証券(株)に同社子会社であるジャパンウェルスアドバイザーズ(株)を連結した補足情報です。

(a) 経営成績（四半期会計期間毎）

(単位：百万円)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
営業収益	4,208	3,618	4,279	3,935	3,107	—	—	—
営業利益	609	397	574	527	343	—	—	—
経常利益	616	397	560	539	345	—	—	—
当期純利益	413	366	378	445	217	—	—	—

(b) 預り資産

(単位：百万円)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
預り資産	612,178	589,795	649,075	626,085	678,991	—	—	—
(うちIFA)	351,931	350,319	398,210	388,480	424,174	—	—	—

(注) あかつき証券(株)とジャパンウェルスアドバイザーズ(株)の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

(c) 契約外務員数

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
契約 外務員数 (人数)	1,767	1,844	1,864	1,894	1,912	—	—	—

II. (株)マイブレイス、(株)バウテックグループ、(株)マイプランナー

(株)マイブレイスは、東京都及び神奈川県を中心とした首都圏、及び大阪府を中心とした近畿圏において、住宅一次取得者層向けの中古マンション事業を行っておりますが、①賃借人なしの空室中古マンションを購入後、直ちにリノベーションを施し売却するケース(以下「タイプA」といいます。)と、②賃借人付の中古マンションを購入後、一定期間賃料収入を得て、賃借人の退去後にリノベーションを施し売却するケース(以下「タイプB」といいます。)があります。また、(株)バウテックグループは、(株)マイブレイス及び外部の買取再販事業者向けにリノベーションの設計・施工サービスを提供しております。なお、以下は(株)マイブレイス、(株)バウテックグループ及び(株)マイプランナーを連結した補足情報であり、3社間の内部取引を消去したものであります。

(a) 経営成績 (四半期会計期間毎)

(単位：百万円)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
売上高	7,954	9,944	10,955	11,458	9,616	—	—	—
営業利益	570	760	894	933	801	—	—	—
経常利益	493	679	804	995	696	—	—	—
当期純利益	331	462	768	523	468	—	—	—

(b) 中古マンションの仕入状況 (四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期との増減。)

(単位：戸)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
タイプA	198 (+64)	200 (+29)	170 (△32)	147 (△44)	195 (△3)	—	—	—
タイプB	6 (△9)	18 (△2)	15 (+6)	23 (+0)	35 (+29)	—	—	—
合計	204 (+55)	218 (+27)	185 (△26)	170 (△44)	230 (+26)	—	—	—

(c) 中古マンションの販売状況 (四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期との増減。)

(単位：戸)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
販売戸数	183 (+49)	228 (+41)	244 (+31)	249 (+55)	202 (+19)	—	—	—

(d) 中古マンションの在庫状況 (四半期会計期間末)

(単位：戸)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
タイプA	503	508	452	373	392	—	—	—
タイプB	401	386	383	383	392	—	—	—
合計	904	894	835	756	784	—	—	—

(e) (株)バウテックグループによるリノベーション完工数 (四半期会計期間毎)

(単位：戸)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
(株)マイブレイス向け	218	204	226	161	185	—	—	—
外販	49	69	60	68	67	—	—	—
合計	267	273	286	229	252	—	—	—

(注) 外販とは、外部の買取再販事業者向けの設計・施工サービスとなります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ14,199百万円増加し、106,235百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3,779百万円、預託金が5,600百万円、販売用不動産が3,646百万円、差入保証金が1,289百万円増加し、信用取引貸付金が902百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ14,261百万円増加し、87,443百万円となりました。これは主に、預り金が11,089百万円、ノンリコース1年内返済予定長期借入金が925百万円、短期借入金が932百万円、1年内返済予定の長期借入金が1,309百万円増加し、ノンリコース長期借入金が487百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ61百万円減少し、18,791百万円となりました。これは主に、非支配株主持分が10百万円増加し、利益剰余金が69百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2025年5月15日の「2025年3月期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,451,338	23,231,142
預託金	23,800,000	29,400,000
トレーディング商品	298,829	325,759
約定見返勘定	936,083	1,097,325
信用取引資産	4,682,253	4,143,154
信用取引貸付金	4,471,447	3,569,297
信用取引借証券担保金	210,805	573,857
差入保証金	1,471,278	2,760,602
販売用不動産	31,338,764	34,984,815
その他	2,895,517	3,253,159
流動資産計	84,874,066	99,195,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	573,043	561,612
土地	265,158	265,158
その他	155,006	148,141
有形固定資産合計	993,208	974,912
無形固定資産		
のれん	699,494	645,686
その他	415,253	448,445
無形固定資産合計	1,114,747	1,094,132
投資その他の資産		
投資有価証券	3,772,268	3,819,543
その他	1,472,195	1,326,652
貸倒引当金	△190,906	△175,637
投資その他の資産合計	5,053,557	4,970,558
固定資産計	7,161,514	7,039,603
資産合計	92,035,580	106,235,562

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	—	63,792
約定見返勘定	—	39,895
信用取引負債	1,157,778	1,868,902
信用取引借入金	873,162	1,123,092
信用取引貸証券受入金	284,616	745,810
預り金	22,479,406	33,568,632
受入保証金	800,111	797,681
短期社債	7,000,000	7,000,000
短期借入金	22,078,504	23,011,324
1年内返済予定の長期借入金	3,140,522	4,449,702
ノンリコース1年内返済予定長期借入金	60,000	985,000
未払法人税等	703,997	242,454
その他	3,145,272	3,027,248
流動負債計	60,565,593	75,054,632
固定負債		
長期借入金	7,373,740	7,461,329
ノンリコース長期借入金	2,920,000	2,432,500
退職給付に係る負債	215,566	224,213
役員株式給付引当金	1,236,674	1,337,652
その他	815,415	878,108
固定負債計	12,561,396	12,333,804
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	55,496	55,496
特別法上の準備金計	55,496	55,496
負債合計	73,182,486	87,443,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,665,452	5,665,452
資本剰余金	3,149,181	3,149,181
利益剰余金	10,491,955	10,422,600
自己株式	△1,495,689	△1,495,689
株主資本合計	17,810,899	17,741,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,542	51,424
その他の包括利益累計額合計	53,542	51,424
新株予約権	9,529	9,529
非支配株主持分	979,122	989,131
純資産合計	18,853,094	18,791,629
負債・純資産合計	92,035,580	106,235,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業収益		
受入手数料	1,646,964	1,588,275
トレーディング損益	2,342,237	1,352,633
金融収益	138,780	125,477
不動産事業売上高	8,097,276	9,913,291
営業収益計	12,225,259	12,979,677
金融費用	16,433	26,548
売上原価		
不動産事業売上原価	6,791,672	8,153,530
売上原価合計	6,791,672	8,153,530
純営業収益	5,417,152	4,799,599
販売費及び一般管理費		
取引関係費	2,285,730	1,438,333
人件費	1,223,118	1,293,308
不動産関係費	104,910	110,832
事務費	205,699	210,969
減価償却費	39,309	42,251
租税公課	102,294	129,930
販売手数料	187,881	221,386
のれん償却額	53,807	53,807
その他	370,605	384,760
販売費及び一般管理費合計	4,573,356	3,885,580
営業利益	843,795	914,019
営業外収益		
受取利息	10,760	9,501
受取配当金	3,548	1,978
投資事業組合運用益	1,925	81,113
不動産取得税還付金	16,773	24,367
その他	9,392	24,211
営業外収益合計	42,401	141,172
営業外費用		
支払利息	121,666	154,638
支払手数料	24,939	41,335
その他	13,420	20,078
営業外費用合計	160,026	216,052
経常利益	726,170	839,139
特別利益		
固定資産売却益	172	—
特別利益合計	172	—
特別損失		
固定資産除却損	429	—
特別損失合計	429	—
税金等調整前四半期純利益	725,912	839,139
法人税、住民税及び事業税	157,574	230,827
法人税等調整額	72,791	122,901
法人税等合計	230,366	353,729
四半期純利益	495,546	485,409
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,567	10,008
親会社株主に帰属する四半期純利益	502,113	475,400

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	495,546	485,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,981	4,883
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△7,002
その他の包括利益合計	9,981	△2,118
四半期包括利益	505,527	483,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	512,094	473,282
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,567	10,008

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(受取利息に関する会計方針の変更)

当社子会社であるあかつき証券(株)は外貨建て預金の運用収益を、従来、営業外収益の受取利息に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、営業収益の金融収益に計上することとしました。

これは、あかつき証券(株)が外国株式及び外国債券など外貨建て金融商品の取引拡大を進める中で、当該取引と関連性の高い外貨建て預金の運用収益について、その性質を、より適切に連結財務諸表へ反映するために見直しを行ったことから、会計方針の変更を実施したものであります。当該会計方針の変更は遡及適用されております。

この結果、遡及適用を行う前と比較して、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、営業収益、純営業収益、営業利益がそれぞれ104,040千円増加し、営業外収益が104,040千円減少しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、(株)しん証券さかもとは、株式を追加取得したことにより持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	43,243千円	47,513千円
のれん償却額	53,807	53,807

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券関連事業	不動産関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	4,127,982	8,097,276	12,225,259	—	12,225,259
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	85,270	320	85,590	△85,590	—
計	4,213,252	8,097,596	12,310,849	△85,590	12,225,259
セグメント利益	613,731	474,481	1,088,213	△244,417	843,795

(注) 1. セグメント利益の調整額△244,417千円には、セグメント間取引消去△85,270千円、全社費用△159,147千円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に当社とあかつき証券(株)との間での社債関連手数料の消去であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券関連事業	不動産関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	3,066,386	9,913,291	12,979,677	—	12,979,677
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	72,030	320	72,350	△72,350	—
計	3,138,416	9,913,612	13,052,028	△72,350	12,979,677
セグメント利益	370,908	811,966	1,182,875	△268,855	914,019

(注) 1. セグメント利益の調整額△268,855千円には、セグメント間取引消去△72,030千円、全社費用△196,825千円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に当社とあかつき証券(株)との間での社債関連手数料の消去であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更に関する注記)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間から、受取利息に関する会計方針を変更したため、前第1四半期連結累計期間については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の金額を記載しております。

この結果、遡及適用を行う前と比較して、前第1四半期連結累計期間の証券関連事業の外部顧客に対する営業収益、セグメント利益が、それぞれ104,040千円増加しております。